



懐かしの校舎の歴史を紹介

校舎の変遷



創立当初の
本校校舎



旧校舎



昭和40年頃



昭和40年代中庭



北高祭



授業風景

大分県立中津北高等学校 校歌

安藤一郎 作詞 清瀬保二 作曲

一、 沖代平野の朝風に
扇はひらく爽やかに
希望の光仰ぎては
英彦に向う若き胸
あ、理想に燃ゆる
中津北高校

二、 周防の灘に注ぎ入る
山国川の豊けさよ
知識の海を探りゆく
若き心に湧く泉
あ、日々に進まん
中津北高校

三、 世界の空に輝やかむ
新に興る日本の
若き花こそわれらなれ
あ、独立自尊の
中津北高校

大分県立中津^{第二}高等学校 校歌

勝 承夫 作詞 下総皖一 作曲

一、 英彦の峰の 気を負いて
青空の空の 呼ぶところ
ここ沖代の 学ぶ舎に
希望の光 満ちわたる
中津^{第二}の 純情の
花今開く 花今開く
自治の庭

二、 心の友よ 山国よ
注ぎて清し 展望は
あまたの 夢を描く
果なき先 福翁の
自由の先 意気今燃えて
意気今燃えて

三、 開けよ 咲けよ花
人生の春 謳うべし
友情厚き 友あまた
中津^{第二}の 激進の
歌今ひびく 歌今ひびく
我が母が 歌今ひびく

大分県立中津高等女学校 校歌

神尾喜久司 作詞 西村 甫也 作曲

一、 萌えいづるなでしこ
希望はかゞやく
緑の校舎こそ
めぐみのひかり
あさけの露の
さ、めぐところ
さやかに匂ふ
わか葉はうれし

二、 萌えいづるなでしこ
希望はかゞやく
稚木の松こそ
光栄ある記念
みどりの梢の
すがたよ こ、ろよ
我等がかゞみ



Oita prefectural Nakatsukita High school

創立100周年

募金趣意書



大分県立中津北高等学校
創立100周年記念事業実行委員会

テーマ

百年の風、未来創造



スローガン

～ 北高生よ、大海を渡る風となれ～

趣意書

同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素から本校発展のために、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我が母校中津北高等学校は、1911年(明治44年)下毛郡立高等女学校として創立、その後、大正4年に中津高等女学校と改称、昭和23年より中津第一高等学校、昭和26年中津西高等学校を経て、昭和28年より現在の中津北高等学校と称するようになりました。草創期の明治時代から、大正・昭和・平成の各時代にわたり幾多の変革を重ねながら充実した発展を遂げ、県下の名門校として多くの人材を輩出してきました。この間の卒業生は2万3千人を超え、全国各地で広く各界にわたり目覚ましいご活躍をされていることは誠に同慶にたえません。

現在、中津北高等学校の後輩たちは、文武両道の精神のもと、日々充実した学校生活を過ごしています。

また、教職員、保護者、同窓会も一丸となって活力ある学校作りに邁進しています。こうした中、平成23年には、100周年を迎えます。

この記念すべき節目の年にあたり、諸先輩方が培った輝かしい歴史と伝統を次代に継承し、今後更なる飛躍を願って創立100周年の各種記念事業・記念行事を計画しています。

つきましては、昨今の厳しい経済情勢の折、誠に恐縮に存じますが、本趣旨にご賛同いただき、事業達成に積極的なご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

平成22年3月吉日

大分県立中津北高等学校
創立100周年記念事業実行委員会

実行委員長(同窓会長) 内尾 伸行

募金要項

1 募金単位

1口 5千円

※できましたら、2口以上のご協力をお願いします。

2口以上ご協力いただいた方は、募金芳名録に記載させていただきます。

4口以上ご協力いただいた方は、100周年記念誌を贈呈させていただきます。(100周年記念誌については、平成24年3月発刊予定です)

2 募金期間

平成22年3月～平成23年3月

3 募金方法

同封の郵便振替用紙をご利用下さい。

4 お問い合わせ

大分県立中津北高等学校同窓会
〒871-0024 中津市中央町1-6-83(北高会館内)
TEL 0979(24)8700 FAX 0979(24)8908
<http://nakatsukita-doso.net/>

ご注意

中津北高等学校及び同窓会の名前をかたって寄付や新聞広告の掲載を依頼してくる場合があります。

募金は北高同窓会が小野高速印刷株に依頼し、この趣意書を皆様にお届けしています。今後、同窓会事務局から電話等で募金のお願いをすることはありませんのでご注意ください。

題字 吉弘 薫峰(高校27回生)